



PUNTOS Y LÍNEA

David Lagos

小島章司

AMI

El Londro

森田志保

Flavio Rodrigues

Juani de la isla

2014年11月14日(金) 15日(土) 全3回公演 セルバンテス文化センター東京 地下1階オーデトリウム

PUNTOS Y LÍNEA

それぞれのPUNTOS(点)がCANTEでつながり、それがLÍNEA(線)となった時、フラメンコの魂が生まれる。

今年2014年、カンテのコンクールにおける最高峰カンテ・デ・ラス・ミナスで大賞を受賞し、今一番の話題のカンタオール David Lagos を中心に、日本の実力者AMI、森田志保、そして、特別ゲストとしてマエストロ 小島章司を迎えての共演作品。

David Lagos ダビ・ラゴス

1973年ヘレス・デ・ラ・フロンテラ生まれ。大叔父、叔父が歌い手、兄がギタリストというフラメンコ一家に育ち、子供の頃から歌い始める。10歳で初舞台。叔父に導かれプロとなり、95年にはドミンゴ・オルテガのグループで新宿「エルフラメンコ」出演のため初来日。後、ドミンゴをはじめ、ベレン・マジヤ、アドリアン、ルイーゴ、クリスティーナ・オヨスらの伴唱で活躍。オオス舞踊団での活躍で注目され、ソロでも活躍。ホアキン・グリロ、イスラエル・ガルバン、パストラー・ガルバン、アンドレス・マリン、マヌエラ・カラスコ…一流の舞踊家たちと数多く共演している実力派。2009年に初のソロ・アルバム「エル・エスベホ・エン・ケ・メ・ミロ」を発表、同アルバムでフラメンコ・オィ(コンクール)のカンテ新人賞を受賞している。2014年、2枚目のアルバム「ミ・レトケ・アル・カンテ・ヘレサーノ」を発表。同年8月にカンテ・デ・ラス・ミナスのコンクールにおいて最高の賞となる大賞を受賞した。現在スペインで最も注目されているカンタオールの一である。

小島章司

(ゲスト出演)

1939年、徳島県出身。武蔵野音楽大学音楽科卒。声楽とピアノ、クラシックバレエ、モダンバレエを学び、フラメンコに出会う。1966年「一人前になるまで帰国しないぞ」と心に誓い横浜港を出港、シベリア鉄道でユーラシア大陸を横断しスペインへ。マドリッドで修業を積む。68年、歌手ラファエル・フェリーナに認められ、一座のスター・ダンサーとなる。以降76年に帰国するまで劇場長期公演、国立テレビ出演、一流タラオ客演、フラメンコ・フェスティバル出演などスペイン内外で活躍。帰国後、数々の劇場作品を発表し、文化庁芸術祭賞、芸術選奨文部大臣賞など受賞歴多数。2003年紫綬褒章、2009年4月スペイン国王より文民功労勲章エンコムエンダ章を受章。同年11月文化功労者に選ばれる。本年2月「フェスティバル・デ・ヘレス」の開幕を作品「FATUM!」で飾る。

撮影:沢渡潤

El Londra

エル・ロンドロ

1976年ヘレス・デ・ラ・フロンテラ生まれ。子供のころから歌いはじめ、ヘラルド・ヌーニェスに見出され、1994年「恋は魔術師」ビエナル公演に参加、後、スペイン各地を巡演。カルメン・コルテス、ホアキン・グリロ、アントニオ・カナールス、アンドレス・マリン、イザベル・バジョン、パストラー・ガルバン、メルセデス・ルイスなど、数々の一流フラメンコ舞踊家たちと共演。また、チクエロ、ホセ・ルイス・モントン、サンティアゴ・ララ、ファン・ディエゴ、アントニオ・レイラギタリストのアルバム録音やスペインで最も人気のあるフラメンコ歌手たち、ホセ・メルセ、ミゲル・ボペーダらの公演などにも参加。2010年にはそのミゲル・ボペーダのプロデュースで、アルバム「ルナ・デ・エネロ」をリリースした。長年、小島章司公演に出演し、その深い知識と実力を発揮している。

Flavio Rodrigues

フラビオ・ロドリゲス

1979年サンパウロ生まれ。5歳でギターを始め、ブラジルのポピュラー音楽やジャズを学ぶ。1994年よりフラメンコギターをフェルナンド・デルアに師事。1998年初めてスペインに渡り、マノロ・サンルーカル、ヘラルド・ヌーニェス、ラファエル・リケルニに師事。2000年、マドリッドに移り住み、以後、ラファエル・アマルゴ、アントニオ・カナールス、アドリアン・ガリアら、偉大な舞踊家たちの伴奏を務める。とくにラファエル・アマルゴ舞踊団では2003年から2008年までギタリスト、音楽監督、作曲家として活躍。作品「エンランブラオ」ではマックス賞オリジナル音楽部門にノミネートされた。2010年ソロアルバム「エニウエイ」をリリース。2011年フェスティマッドで最優秀ライブ賞など3賞を受賞するなど、ソロでも伴奏でも活躍中。

© Enrique Garcia

Juani de la Isla

ホアニ・デ・ラ・イスラ

1976年生まれ。13歳より、数々のカンテコンクールに、父であるアギラール・デ・ヴェヘールや多くの歌い手と共に参加し、2度のスペイン・ナショナルアワードと最優秀賞を受賞。地元や県内の多数の学校において、舞踊伴奏として勤める。数多くの舞台音楽の作曲を手掛け、その代表作には、クリスティーナ・オヨスの「アル・コンパス・デル・ティエンポ」やハビエル・パロンの「ソロ・ボル・アルテ」などがある。イザベル・バジョン、マヌエラ・カラスコ、サラ・パラスなどの著名な踊り手とも共演。また、ホアキン・サビナ、ホセ・メルセなどのアーティストと共に音楽監督としてCDを制作するなど活動範囲は多岐に渡る。近年ではベネ・デルシア、ラ・ウシ、ホセ・メルセなどの優れたカンタオールたちと精力的にライブを行い、ソロでの活動として公演「デ・ラ・イスラ」を発表している。

AMI(鎌田厚子)

岡田昌巳に師事。1988年の渡西以来、ビエナル・デ・アルテ・フラメンコ、セビリア世界万博やフェスティバルにソロ出演、ウエルバのコンクール決勝進出などを経て、1995年スペインのフラメンコのコンクールで最も権威と歴史のあるコルドバのコンクールにて、外国人初のプレミオナショナル「エンカルナシオン・ロベス・ラ・アルヘンティニータ賞」を受賞。日本では日本フラメンコ協会主催新人公演で新人奨励賞受賞。1994年よりリサイタルを始め、それ以来、多数の舞台に制作出演。最近ではコンテンポラリーダンスやオペラでの舞台にも振り付け・出演。15年間のセビリアでの留学を終えて2004年より東京・東高門寺にスタジオを設立。指導と舞台活動を続けている。著書に「AMIの素敵にフラメンコ」(ベースボールマガジン社)、DVD「自宅でクルーシージョ「情感豊かなサバテアードを目指して」」(パセオ社)、「AMIの発表会が出来るまで」(スタジオ・オズ社)などがある。

森田志保

日本フラメンコ協会の第三回新人公演にて奨励賞受賞。1994年スタジオトルネージョを設立し、活動の拠点とする。スペインの文化であるフラメンコを日本人の踊り手として昇華し、独自の世界観を表現すべく新たな作品を発表し続けている。フラメンコの枠に留まらず、実験的な試みを加えた「はな」「ねじ」シリーズは7回を数える。「はな5」は平成21年度文化庁芸術祭優秀賞を受賞。2014年短編映画「Gravitación」企画、主演。(高木由利子監督) 同年、巨匠Antonio Canales, Carmen Ledesmaとの共演作品「Plata y Oro」では演出も手がける。

点と線

2014年11月

14日(金) 開場19:00 / 開演19:30

15日(土) ①開場15:00 / 開演15:30

②開場19:00 / 開演19:30

S席:7,000円

A席:6,500円

お申込み専用メールアドレス flamencoticket.info@gmail.com

セルバンテス文化センター東京

地下1階オーデトリウム



お問い合わせ

AMIフラメンコスタジオ TEL 03-3384-8335

トルネージョ TEL 0422-20-5898

主催

AMIフラメンコスタジオ / トルネージョ

後援

セルバンテス文化センター東京 / 日本フラメンコ協会



(ダビ・ラゴス 第2作CD)

MI RETOQUE AL CANTE JEREZANO

(ミ・レトケ・アル・カンテ・ヘレサーノ)

本作はヘレスのカンテの先人達へのリスペクトを基本に自身の個性を加え2014年に発表。カンテ・デ・ラス・ミナスでの受賞と共に傑作として注目されている作品。